

お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道

**Shibata City Waterworks vision**

# 新発田市 水道ビジョン

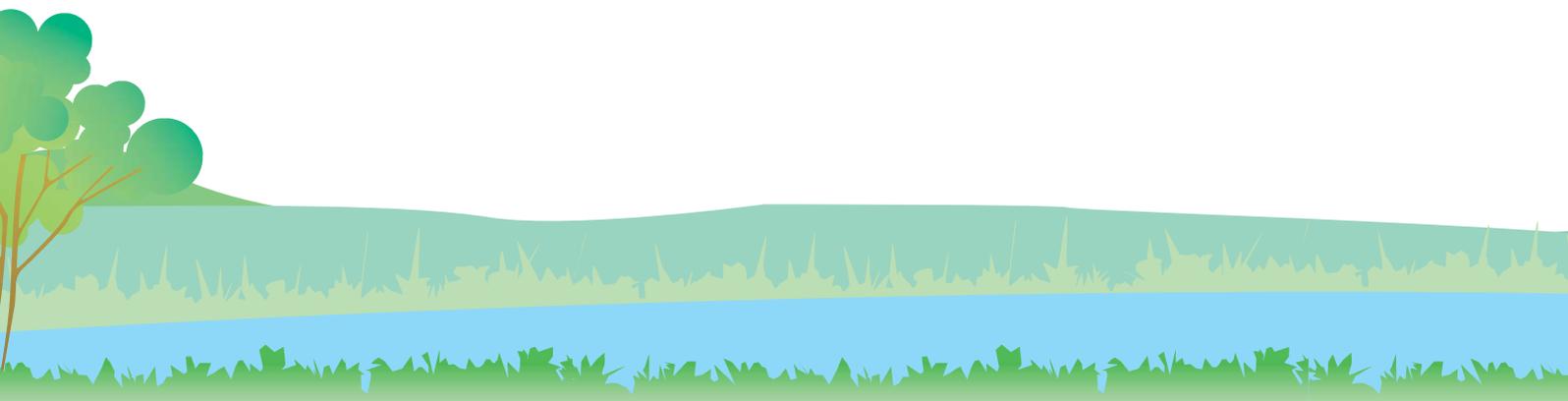
令和6年度～令和13年度



新発田市



|                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 新発田市水道ビジョンの意義と位置付け | 01 |
| 1.1. 策定趣意             | 02 |
| 1.2. 位置付けと計画期間        | 03 |
| 2. 新発田市水道事業の概要        | 05 |
| 2.1. 新発田市について         | 06 |
| 2.2. 水道事業のあゆみ         | 07 |
| 3. 水道事業の現況と課題         | 11 |
| 3.1. 水道水源             | 13 |
| 3.2. 浄水施設、配水施設と管路     | 13 |
| 3.3. 水質管理体制           | 16 |
| 3.4. 水道施設の更新需要        | 17 |



|  |    |
|--|----|
| 4. 経営状況                                    | 19 |
| 4.1. 水道事業を取り巻く環境変化                         | 20 |
| 4.2. 現在の経営状況と傾向                            | 20 |
| 4.3. 計画期間中の収支計画                            | 20 |
| 4.4. 料金改定                                  | 23 |
| 5. 新発田市水道事業の理想像と目標                         | 25 |
| 5.1. 新発田市水道ビジョンの構成                         | 26 |
| 5.2. 基本理念                                  | 26 |
| 5.3. 基本目標                                  | 27 |
| 5.4. 施策                                    | 28 |
| 6. 新発田市水道ビジョン（平成 28 年度～令和 5 年度）<br>評価結果一覧表 | 43 |
| 7. 用語の解説                                   | 53 |





# 1



## 新発田市水道ビジョンの意義と位置付け

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1.1. 策定趣意 .....      | 02 |
| 1.2. 位置付けと計画期間 ..... | 03 |

# 新発田市水道ビジョンの意義と位置付け



## 1.1. 策定趣意

新発田市水道事業は、昭和3年の給水開始以来、5期にわたって拡張事業を行い未普及地域の解消に努め、平成29年には市営簡易水道事業との経営統合を行いました。現在の計画給水人口は104,560人、計画1日最大給水量は61,730 m<sup>3</sup>であり、普及率は99%に達しています。

水道の普及が進むにつれて、全国の水道事業者には、安心・安定・持続・環境・国際の観点から、水道事業のあり方を改めて問われるようになりました。

更に近年、水道事業を取り巻く環境は人口減少に伴う水需要の低下や老朽施設の更新費用の増加など大きく変化しています。また、東日本大震災や能登半島地震の経験から、震災対策を抜本的に見直した危機管理対策が喫緊に求められています。

厚生労働省は、平成25年度末に日本の総人口の減少、東日本大震災の経験といった水道を取り巻く状況の変化に対応すべく、「新水道ビジョン」を公表しました。新水道ビジョンでは、基本理念を「地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道」とし、水道の理想像「安全」、「強靱」、「持続」を軸に、これまで国民の生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵をこれからも享受できるよう、今から50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、その理想像を具現化するため、今後、当面の間に取り組むべき事項、方策を提示しています。

一方、新発田市では、「新発田市まちづくり総合計画」で将来都市像「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」を掲げまちづくりを進めています。この中で上水道事業は、基本目標「生活・環境」、施策「上・下水道」に位置付けられており、施策の基本方針を「いつでも安全でおいしい水道水が利用でき、生活排水がきちんと処理される、清潔で快適な生活が送れるまち」とし、事業を実施しております。

当市では、国の「新水道ビジョン」が掲げる理想像や「新発田市まちづくり総合計画」を踏まえて、平成27年度に「新発田市水道ビジョン(平成28年度～令和5年度)」（以下、「前ビジョン」という。）を策定し、これに沿った形で事業運営を進めてきました。

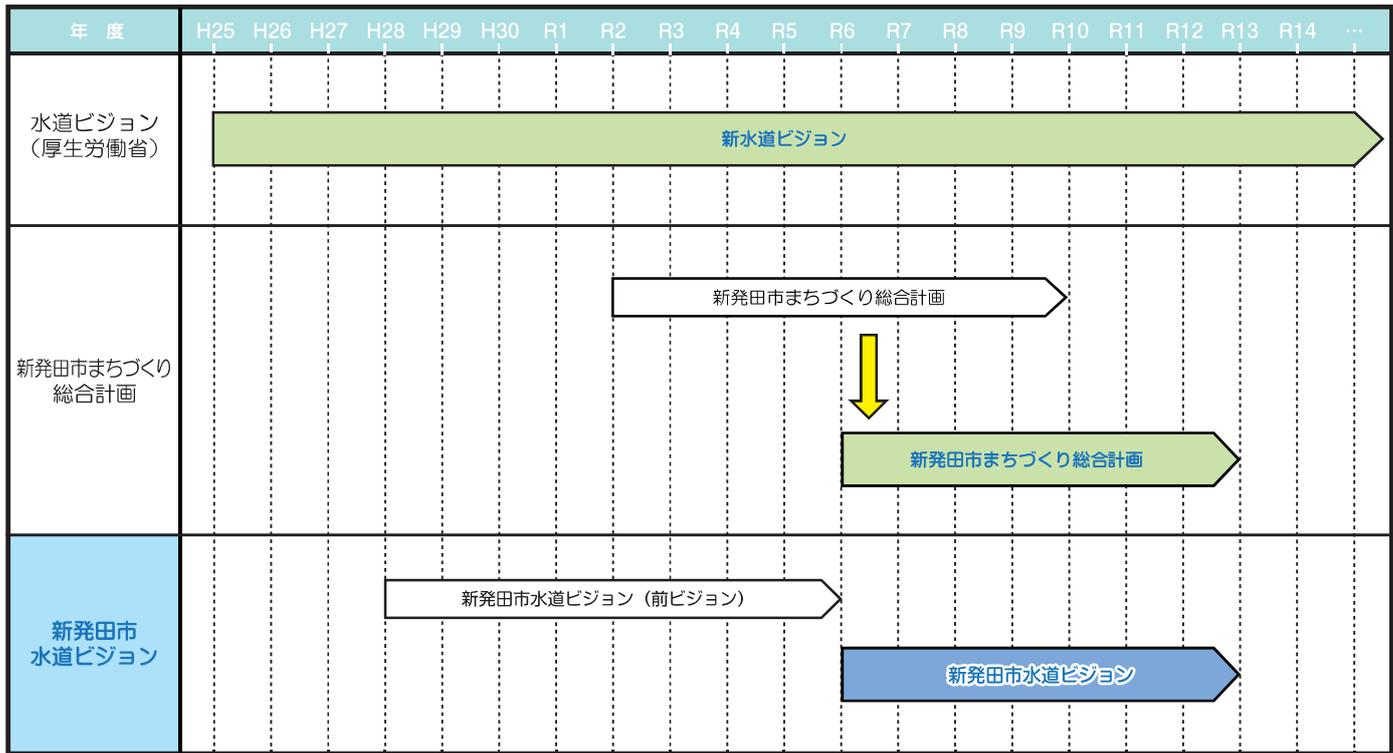
この度、前ビジョンが計画期間を満了することから、前ビジョンの施策の評価結果を踏まえて、新たな「新発田市水道ビジョン」を策定しました。新発田市水道事業が、現在、どのような状況にあるのか、また、その実現に向けて、これからどこをどのように改善し、何を目標にしてどんな活動を展開しようとしているのかをお客様に示し、これをもとに、水道事業者である新発田市水道局が、お客様の理解と協力を得ながら、より良い水道事業を築いていくことを目指して策定するものです。

## 1.2. 位置付けと計画期間

新発田市水道ビジョンは、前ビジョンと同様に、国の「新水道ビジョン」や「新発田市まちづくり総合計画」を上位計画として作成した新発田市水道事業の基本計画です。

計画期間は上位計画である「新発田市まちづくり総合計画」に合わせ、令和6年度から令和13年度までの8年間を計画期間に設定しました。

水道局の計画と関連計画



➡ 今回策定した計画   
 ➡ 上位計画とした計画   
  水道ビジョンおよび上位計画の旧計画

なお、前ビジョンにおける各施策の実施状況、評価結果については、「6 新発田市水道ビジョン（平成28年度～令和5年度）評価結果一覧表」で示します。

